



広野町ふるさと創生大学通信

平成28年度の広野町ふるさと創生大学卒業生です!



○「第4回 広野町ふるさと創生大学」 受講生から感想が寄せられましたので何件かご紹介いたします。 「ふたば未来学園の未来創造型教育について」

講師：福島県立ふたば未来学園高等学校 校長 丹野 純一 先生

- 昨年に続きふたば未来学園の様子をお聞きできて良かったです。2年生はどんな授業になっているのかが少しわかりとってうれしかったです。3年生になったらどんなに成長するのか…親以上に楽しみです。各界のトップの皆さまの授業を受けられる事は生徒の皆さまには財産になると思いますし、生きる力をいただきこれからの人生の糧になる事でしょう。校長先生の話聞きながらワクワクしていました。ルーブリック調査は出生後の生育歴や環境等が大きく影響するのでしょうか？
- 丹野先生の冒頭の挨拶の中で、広野小・中学生には大変なご迷惑をおかけして…と謝罪から入られた時、いつも町内の子供達の事を考えてくださっている事がよく伝わってきました。色々興味深い話ばかりでした。だから、出来ることなら小・中学生の保護者の前でもぜひとも講義をしていただけたらいいのと思わずにはいられませんでした。まだ、未知の世界にしか思えない未来学園ですが、2年しか経過していないのに、丹野先生をはじめ諸先生の絶え間ない努力のおかげで日本中どこにもない高校を作り上げていく様子を、我が子を入学させたいという気持ちにまでなりました。貴重なお時間ありがとうございました。
- 教育目標が変革者を育成するというテーマだと思えます。この教育が日本では、1番大切な事だと思えます。何事もなくぬるま湯につかって平々凡々と暮らし、これが幸せなのだろうか？少しでも前に進んでより良く変革を求める教育が必要だと思えます。東京都知事の小池百合子さんのような新しい考えを持って進むべきだと思えます。それは、教育だと思えます。自立、創造、協働、発信力が最も大切だと思えます。未来学園に期待しています。日本を引っ張って行く人材が育成される事を願っています。
- 1年間で若いエネルギーをほとばしらせる学園—凄い！1週間ひとりで雑草取りに畑に向かう〇〇君。駅前店舗を考えている〇〇君。渦巻く若い知力、行動力、情熱—方向性の導きで高校生の未来に期待。双葉郡を、国を、世界を揺り動かしてくれる若者達だと…熱く思いました。
- 特にスペシャリスト系列の生徒さんに関して、私には考えられない事を実際に行っている事を知り（広い畑を1人で草むしりをして、将来、そこで育てた作物を販売したい。）感心すると同時に心強く思いました。
- 丹野先生がおっしゃる、学生の人生と地域の将来、世界の未来へ向けての視点は聞いた私にも勇気を与えて頂きました。地域と学生、高校がこれだけつながっている例は全国的にも珍しい事と思えますし、地域にとっても益であることと思えます。

〈問い合わせ先〉 広野町生涯学習課（公民館内） ☎0240-27-3244

INFORMATION ~まちからのお知らせ~

平成28年度広野町公民館各種教室のお知らせ（第6回）

● ナイスレディ講座 第6回に参加して

広洋台一丁目 大越 陽子さん

県外から移住という形で、知り合いもいない地でしたが、海・山があり住みよさそうな雰囲気を感じて広野町に居を構えました。

広野町に来て初めての参加が公民館主催のナイスレディ講座で、内容に興味を持ち申し込みました。最初の回は、知らない方ばかりで雰囲気もわからず、不安いっぱい気持ちで出席しましたが、すぐに和気あいあい楽しい雰囲気になり、参加して良かったと思えました。回を重ねるごとに、いろいろと勉強になり、とうとう今回の陶芸で最終回となりました。

今回は、笠間市での陶芸移動研修（ロクロ体験）と聞いて、期待に胸が膨らみ、いよいよ当日を迎えました。早朝の出発ながら心ウキウキ青空の下、車に乗り笠間市へ向かいました。車中、どんな作品を作ろうかと頭の中で構想を巡らしながら、あっという間に現地到着。お天気も味方し、笠間工芸の丘の建物と芝生が青空に映えて、景色も最高でした。

陶芸教室の係りの方の説明を受け、準備されたロクロの前に椅子に座り、ポーズは一人前、でも心の中は、不安でドキドキ、今にも心臓が飛び出しそう。緊張しながらロクロを回転させて、ロクロのぐるぐる感と土の固さに一段と手も心も固くなり、何をどうしたいのか、頭の中も空回りでした。一緒に参加したメンバーの様子を見る余裕もありませんでした。



緊張しながらロクロ体験に挑む参加者

説明を受けた半分もできていない状態ながら、少しずつ形にはなりましたが、自分の想像した物とは、程遠いながらも作品は完成。心臓の高鳴りと、思うようにできなかった喪失感でしたが、ロクロ体験は初めてでしたので、とても充実感を味わうことができました。苦勞の成果は、乾燥、色付け、焼き付けをして、作品が手元に届くまでのお楽しみということで、帰途に就きました。

ナイスレディ講座は、皆で同じ目的に向かい、勉強も体験もでき、参加して良かったとしみじみ思いました。これからは、町の行事にも積極的に参加したいと思えます。今後も、このような講座があれば、ぜひ、受講したいと思います。担当してくださった方々にも感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

● 第67回福島県女性大会に参加して

広野町婦人会 会長 木幡 綾子さん

10月17日、いわき芸術文化交流館アリオスにて県内から県婦人会員、外女性男性1000人の参加で福島県女性大会が開催されました。（この大会は一般財団法人福島県婦人団体連合会主催で、年1回開催されます。）来賓のいわき市長さんの「アロハー」の挨拶に会場内から思わず笑いがこぼれ、和やかな雰囲気の中での開催となりました。

大会テーマ『あの大震災を乗り越え飛躍するために』で、いわき市地域婦人会連絡協議会の方が「あれから5年 その後のいわき」と題して発表されました。3・11いわき地方の当時の衝撃的な映像、津波が来て、家ごと何もかも流れて行く様子。それに加えて火災発生（被害の衝撃は未だ癒えることはありませんが嘆いても前に進めない）できることからやるということで、日頃の活動成果を報告されました。いわき市に隣接している広野町民として、被災の窮状を聞き、身につまされる思いでした。

アトラクションでは、震災後に生を受けたいわき市磐崎幼稚園児のフラダンスに癒され、社会福祉法人敬和会車田保育所園児の太鼓演奏に元気をいただきました。

午後からは、東北エネルギー懇談会顧問 関口哲雄先生による「今こそ学ぼうエネルギーに関する諸問題」と題しての記念講演がありました。

来年の女性大会の会場は、田村地方となり三春、双葉郡合同で開催されます。開催地側の立場となり、広野町婦人もお手伝いがあるかと思えます。その時は、ご協力よろしくお願ひいたします。



広野町婦人会のみなさん